



熊谷市 記者クラブ取材情報

平成30年7月26日発表
担当課:危機管理室

事業の名称等

『熊谷市総合防災訓練 & みんなの防災フェア』の開催について

1. 日時 平成30年8月25日(土) 午前9時(開会式開始)~12時

2. 場所 熊谷荒川緑地 自由広場 (荒川大橋東側左岸)

3. 事業概要

【目的】

大規模地震災害を想定し、市・防災関係機関・住民・事業所等が合同で、各種訓練を実施し、相互連携の強化と災害対応力の向上を図ります。

また、みんなの防災フェアを同時開催。テーマは、「かんがえる、くまがや防災」。体験や展示を通して、災害を自分ごとと捉え、「もしも」に備えるきっかけにして欲しい。

【内容】

埼玉県北部を震源域とする直下型地震(熊谷市の最大震度は6強)の発生を想定し、シェイクアウト訓練、情報収集訓練、広報訓練、避難訓練、初期消火訓練、負傷者救助救出訓練、ライフライン事業者による応急復旧訓練などを実施します。今回は、市内防災士の協力を得て、訓練評価を実施、実効性の向上に役立てます。

また、みんなの防災フェアでは、自然災害体験車(3D映像、日本に1台)や煙体験ハウスを用意し、災害体験や応急手当の体験、防災用品の展示、住宅耐震相談などを行うほか、炊出し品(味噌汁、おにぎり)の配布や備蓄食料(スタンプラリー、800食)のプレゼントを行います。

【経緯・経過】

本市においては、総合防災訓練を隔年で実施しています(前回は平成28年度)。

4.

・約60の関係機関、企業及び団体が参加し、参加人員は約700人を数える。
・防災の日の9月1日ではなく直近の土曜日に実施することにより、多くの市民等の参加、観覧および協力を得られる。

今回は、市民の来場を促すため、広報用シールを作成、イベント周知に活用します。

5. その他

【主催】熊谷市

【代表者】熊谷市長 富岡 清

【参加団体】陸上自衛隊第32普通科連隊第5中隊、航空自衛隊熊谷基地、熊谷警察署、東京ガス(株)熊谷支社、東京電力パワーグリッド(株)熊谷支社 等

資料の有無(有 ・ 無)

担当者 危機管理室 松岡、松村

連絡先 048-524-1111(内546)

平成30年度 熊谷市総合防災訓練 会場配置図



「みんなの防災フェア」エリア(災害体験・展示)(予定)

「震災想定訓練」エリア(予定)

実施時間	訓練内容	実施時間	訓練内容
8:00 ~ 8:45	避難住民輸送訓練	9:50 ~ 10:25	住民による災害対応訓練及び各種連携訓練
8:45 ~ 9:00	集合・整列	(9:50 ~)	・初期消火訓練
9:00 ~ 9:25	開会式		・仮設トイレ設置訓練
9:25 ~ 9:35	災害対策本部設置訓練		・電気(照明)設備仮設訓練
9:35 ~ 9:40	情報収集訓練		・アマチュア無線を使用した安否確認訓練
9:40 ~ 9:45	広報訓練	(10:05 ~)	負傷者救助救出、救護及びトリアージ訓練
9:45 ~ 9:50	避難訓練	10:25 ~ 10:35	道路啓開訓練
	・事業所集団避難	10:35 ~ 10:45	救援物資輸送、受入れ及び搬送訓練
	・自治会(自主防災組織)避難(要配慮者支援、ペット同行避難を含む。)	10:45 ~ 11:10	救助救出訓練及び消火訓練
	・帰宅困難者の誘導	11:10 ~ 11:30	ライフライン事業者による復旧等訓練
		11:35 ~ 11:45	閉会式

実施時間	内容
9:40 ~ 12:00	煙体験ハウス
	初期消火体験
	自然災害(3D土砂災害)体験車
	災害派遣車両の展示
	応急手当体験
	住宅用火災警報器設置の啓発
	住宅耐震相談
	防災用品の展示
	飲料水備蓄品の展示
	災害用伝言ダイヤルの体験
	カラス営業模型(停電原因)のガス関連器具等の展示
	ペットに関する防災対策の展示
	気象関連(竜巻発生装置)の展示
	災害対策資機材・車両等の展示
地区防災計画の展示	
スタンプラリー・景品交換所	
赤十字奉仕団活動の展示	
10:40 ~ 12:00	炊き出し(おにぎり)
	炊き出し(みそ汁)



熊谷市総合防災訓練



& みんなの防災フェア

日時 平成30年

8月25日(土)
9:00~12:00

場所

熊谷市荒川緑地
自由広場

防災の「なるほど」を
ご提供します。

熊谷市
総合防災訓練



「みんなの防災フェア」にお越しください。

- 備蓄食料プレゼント (スタンプラリー、800人限定)
- 日本に一台、3D映像の「自然災害体験車」が登場。
- 煙や消火体験コーナーほか、展示ブース多数。

かんがえる、くまがや防災…地震編

阪神大震災、東日本大震災、熊本地震、大阪北部地震と、私たちは多くの「悲劇」を目撃してきました。確かに「地震は怖い」ものです。ここでは、どんな原因で、亡くなったり、ケガをしたのか、悲劇の「教訓」をおさらいしましょう。かんがえる、くまがや防災。あなたの「いつも」が「もしも」を変える。

被災地「熊谷」 地震の被害想定

市の広い範囲で震度6強以上、一部で震度7。
4,300棟以上の家屋が全壊。800棟以上の家屋が焼失する。
死者は284人、負傷者は1,900人余りに上ると予測されている。
(埼玉県地震被害想定調査より)

命とまちを守るため、災害を知って、備え、地域で助け合いのつながりを作る。(減災の取組)

死亡の原因は (阪神・淡路大震災のデータ)

窒息 (倒壊建物等で呼吸困難)	圧死 倒壊建物等で圧迫死亡	焼死 全身火傷	シヨック死 挫傷	その他 不詳及び不明
53.9%	12.4%	12.2%	8.8%	12.7%

対応策は

- 【教訓】死亡者の6割強は、窒息・圧死(火事も1割)。
- ① 建物の耐震化を進めよう。(昭和56年以前の住宅は注意が必要)
 - ② 揺れが収まったら、火の始末。避難する際は、電気ブレーカーを落とす。

ケガの原因は

家具・電化製品の下敷き	ガラス・金属建物の破片	天井柱・梁などの下敷き	本人の転倒	その他不詳
45.8%	25%	16.7%	8.4%	4.2%

- 【教訓】ケガの7割は、家具・電化製品の破片、下敷き、ガラス等の破片。
- ③ 家具・電化製品の固定を進める。(万一、タンス・テレビの倒れる方向・範囲を確認)
 - ④ 寝室に靴・皮手袋を常備しておく。

救出の相手は

自力で	家族に	友人・隣人に	救助隊に	通行人に	その他
34.9%	31.9%	28.1%	1.7%	2.6%	0.9%

- 【教訓】結局、助けてくれるのは、近くの人たち(9割)。
- ⑤ 地域をよく知る人たちに「防災組織」を作ろう。(ご近所で、避難誘導、安否確認、防災訓練。高齢者、障害者、外国人等の手助け)